

2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス南流山教室

対象人数（保護者）19人 回答者数 16人 回収 84.2%

		チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	ご意見	教室からのコメント
満足度	1	お子様は安心感をもって通所していますか？	11	5					今後もお子様がより安心できる教室づくりを行ってまいります
	2	お子様は楽しんで通所していますか？	11	5				・朝、こどもプラスの日かどうか私に確認してきます。「そうだよ」と言うと、嬉しそうにしています。	ご自宅でもこどもプラスを楽しみにしてくれている様子や、動物変身を練習している様子など保護者の皆様から嬉しい報告を頂いております。自信をつけながら楽しく活動に参加できるよう支援していきます
環境・体制整備	3	怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	12	4					クッションフロアを使用し、怪我の防止に努めております。こどもたちにも「教室内は歩く」等ルールを常に伝えながら支援しています。
	4	生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	10	5			1		日頃より清潔を保つよう努めております。
	5	お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47㎡以上と設備基準には定められています。	12	4					基準を満たした広さとなっております。
	6	職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	12	4					人員配置を満たしております。
	7	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 （※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。）	10	5			1		入室後、すぐに準備にとりかかれるよう水筒置き場や連絡袋の提出スペースなどを工夫しています。
適切な支援の提供	8	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	6					統一した支援を行うことができるよう、朝礼、昼礼、夕礼を通してお子様への声掛けや支援方法を共有しています。
	9	教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 （※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。）	7	9					支援方針にある通り、身体だけでなくこどもたちのやる気や自信など心も育むことができるよう支援しています。
	10	こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿ってが客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 （※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。）	10	6					職員間で日々のお子様の様子や状況を話し合う時間（担当者会議）を設けながら児童発達支援責任者が目標を設定させていただいております。もし支援計画について何かご不明な点や修正が必要な点がありましたらお気軽にご相談ください。
	11	児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	10	6					2週目と4週目の昼礼、夕礼時に支援目標のチェック表を用いてお子様の様子を共有しています。
	12	社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。	12	4				・親子でクリスマス会やお花見など楽しそう。 ・遠足の機会が多く、驚きました。本人、親両方にとって、とてもありがたいです。	嬉しいご意見ありがとうございます。遠足などのイベント計画には力を入れております。
保護者への説明	13	教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	11	5					契約時にご説明させていただいております。ご不明点等ございましたらお気軽にご連絡ください。
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	11	5					初回の個別支援計画確認時にご説明させていただいております。
	15	教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等 ※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。 （※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。）	5	5		1	5	・ベアトレなどの親への研修に参加したことがないので、そのような研修があるなら参加したい ・入ってからそのようなお知らせはないので、ないと思っていた為 ・親同士の交流会などもう少しあっても情報交換できていいと思った	貴重なご意見ありがとうございます。現在ペアレントトレーニングやご家族様向けのイベント企画を練らせていただいております。
	16	日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	6	1				ハグの連絡帳やLINEにてご連絡させていただいております。緊急性がある場合や、けがをした際などには必ずお電話で対応させていただきます。
	17	定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会がありますか。	9	3	1		3		保育園送迎のみになりますと保護者様との情報共有の機会が少なくなってしまうので、今後モニタリング以外での情報共有の機会を多く持てるよう考えております。
	18	教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	10	6					お子様の「できた！」に着目し、達成感を感じられるよう日々の支援から心掛けております。
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。	5	6			5	・利用開始4ヶ月なので、まだ保護者会の機会がなく、わかりませ ん ・あるあるの困りごとなどをだして解決する方法など聞けると良い	今年度、はじめて保護者会イベントを企画させていただきました。今後も保護者様同士の交流へと繋がるような機会を設けて参りたいと考えております。
	20	相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	8	3			5		契約時にご説明させていただいております。ご意見等ございましたら窓口の藤井までご連絡ください。
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	11	4			1		ラインを通じて利用日前日の送迎時間確認連絡やイベント案内、モニタリングについてなどこまめにご連絡をさせていただいております。保護者様からも連絡につきましても早急に対応できるよう努めております。
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	4			3		毎月こどブラ通信にて発信をしています。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	6					個人情報保護の重要性を全職員で共有し個人情報の適切な取り扱いと保護に努めております。
非常時等の対応	24	教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	7					マニュアルにつきましては教室に保管の上、定期的に訓練を実施しております。
	25	教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	12	4					毎月避難訓練週間を設定し、様々な想定をした訓練を実施しております。
	26	教室より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	7					毎年安全計画をLINEにて周知させていただいております。
	27	事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	7	5			4		事故やけがをした際には必ずお電話かLINEにてお伝えさせていただいております。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス南流山教室

公表日 2025 年 12 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員のお休み等不足時には、他教室からの応援で補っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		更に絵カードなどを作り視覚支援を取り入れようと考えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		こどもたちの過ごすスペースは清潔が保たれている。事務所内も整理する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別の部屋を適時自由に使えるが、より安心できる環境設定のため、更に個室が用意できるとよい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員会議や申し送りなどで情報の共有はなされていると思います
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議は月2回行っている 意見交換と情報共有の話し合いができています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在は第三者による外部評価は行っていない。今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		安定的な人員の確保で、研修を受講する機会も増やしていきたい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	教室で用意した、具体的なアセスメントシートを用いて状況を把握するようにしている。また、日々の職員支援会議や当日の支援記録をもとに、分析と計画の修正を行っている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		AIを導入してより正確な記録が取れるようになったと思います
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者または児童発達支援管理責任者が参画している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	ペアレントトレーニングは行われていないが保護者会を開催するようになった。保護者会等を通し、保護者様との理解や関係性が深まることでより良い支援に繋がると感じます。

保 護 者 へ の 説 明 等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様とお会いできる機会が少ない場合もあるので、定期的な面談をする機会を持ちたいと考えている
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域住民を招待するようなイベントはないが、保護者参加型イベントなどを行っている。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		